

下松市 ① 震度分布図

揺れやすさマップ

山口県は比較的地震の少ない地域だといわれていますが、平成13年にはマグニチュード6.7の地震が安芸灘で発生し、市内でも震度5弱の強い揺れを観測しています。

また、近年、全国各地で確認されていない断層による地震が起こったり、それまで地震が長い間なかった地域で大きな地震が発生しています。

このように、地震はいつ、どこで発生するのか予測することが困難なため、日ごろからの備えが大切です。このマップをご覧になり、皆様のご自宅やよく行く場所の安全性について考えてみてください。

揺れやすさマップとは

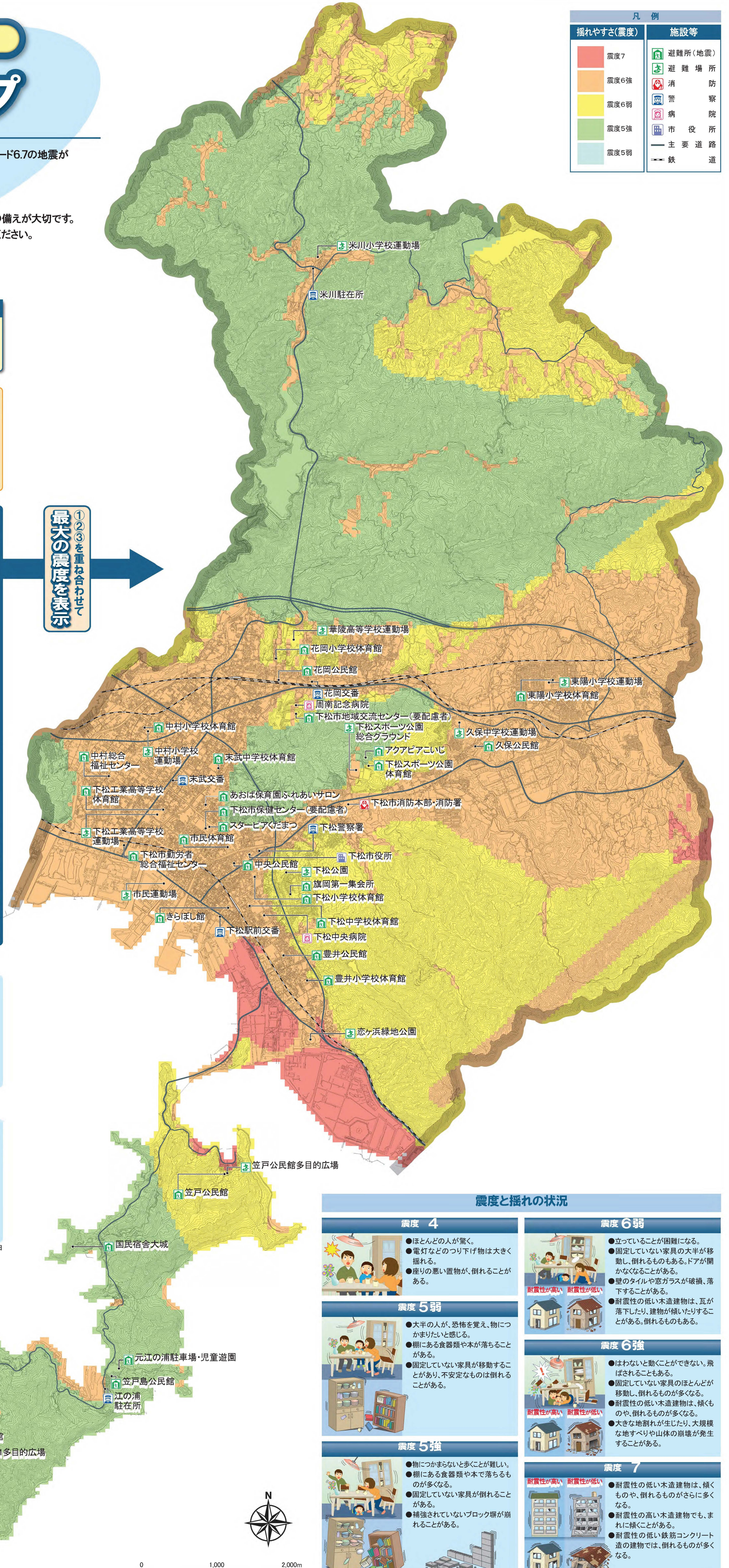
①大河内断層による地震、②どこでも起こりうる直下の地震、③東南海・南海地震の3つの地震の予測震度を重ね合わせ、最大となる震度を示したものです。震度予測はメッシュ(50m×50mの網目ごと)に行っており、震度別に色分けして表示しています。

揺れやすさマップの作成方法



想定地震	①大河内断層による地震	②どこでも起こりうる直下の地震	③東南海・南海地震
地震の概要	広島県大竹市から山口県周南市に至る岩国断層帯は、地震調査研究推進本部にてマグニチュード7クラスの地震を起こす可能性がある活断層帯であると指摘されています。このマップでは岩国断層帯のうち、市域南東部から北東方向に約15kmの長さのびる大河内断層が動くこととして想定しています。山口県による地震被害想定調査を基に、地震の規模はマグニチュード7.2としています。	まだ確認されていない活断層が活動し、地震を起こす可能性があります。過去の地震の事例では、マグニチュード6.5程度の地震の多くは、地表で活断層が見つかっていませんでした。そこで、このマップでは確認されていない活断層による地震が、下松市直下で発生することを想定しています。新潟県中越地震などのマグニチュード6.5以上の地震でも活断層が確認されていないことから、地震の規模はマグニチュード6台の最大値としています。	静岡県から高知県沖にのびる南海トラフを震源に、約100年～150年間隔で繰り返し発生する地震です。今後数十年の間に発生するのが確実といわれており、発生すれば市内でも大きな揺れが予想されます。過去、東南海地震と南海地震が同時に発生したこともあったことから、このマップでも2地震が同時に発生した場合を想定しています。今後30年以内に地震が起こる確率は、東南海地震で60%～70%、南海地震で60%程度と予測されています。
想定マグニチュード	7.2	6.9	8.5
下松市で想定される震度	震度5弱～震度7	震度5強～震度6強	震度5弱～震度6弱
震度分布			

①②③を重ね合わせて最大の震度を表示



凡例	
揺れやすさ(震度)	施設等
震度7	避難所(地震)
震度6強	避難場所
震度6弱	消防
震度5強	警察
震度5弱	病院
	市役所
	主要道路
	鉄道

揺れやすさの特徴

- 大河内断層に近い南部地域では、大河内断層による地震の震度が、地域の最大震度になることが予測されます。臨海部の埋立地や市東部の丘陵地の一部では、震度7が予測されます。これは断層のすぐそばであることに加えて、埋立地というやわらかい地盤であるためと考えられます。
- 市中部から北部の山地はかたい岩盤であるため震度5強程度の揺れですが、堆積物の多いやわらかい地形である谷の一部では震度6強が予測されます。
- かたい岩盤で構成されている笠戸島は、砂浜や埋立地である沿岸部等の一部を除いて比較的揺れは小さく、震度5強程度の揺れが予測されます。

災害用伝言サービス

「171」をダイヤルし、ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください

伝言の録音方法: 「171」をダイヤル → 録音ボタンを押す → 録音完了

伝言の再生方法: 「171」をダイヤル → 再生ボタンを押す → 再生完了

被災地の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル

録音: 再生

●防災週間……毎年8月30日～9月5日 ●防災とボランティア週間……毎年1月15日～21日

災害用伝言ダイヤル
忘れてイナイ(171)?と覚えてください

このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間などで、伝言の登録・再生をすることができます。毎月1日及び15日、正月三日、防災週間、防災とボランティア週間に体験利用ができます。

震度と揺れの状況

<p>震度 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ほとんどの人が驚く。 ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ●座りの悪い置物が、倒れることがある。 	<p>震度 6弱</p> <ul style="list-style-type: none"> ●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることもある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、互が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
<p>震度 5弱</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 	<p>震度 6強</p> <ul style="list-style-type: none"> ●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものも多くなる。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものも多くなる。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の前縁が発生することがある。
<p>震度 5強</p> <ul style="list-style-type: none"> ●物につかまらなさと歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本で落ちるものも多くなる。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。 	<p>震度 7</p> <ul style="list-style-type: none"> ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものも多くなる。

お問い合わせ先
下松市役所 建設部 住宅建築課
〒744-8585 山口県下松市大手町3丁目3番3号
電話 0833-45-1851